

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

1. 北区の小学校火災の教訓

教育長通信 NO.32 で、「他の学校・自治体の事案を「他山の石」に」とお伝えしました。先日起きました、東京都北区立小学校での火災を受けて、3点の教訓にすべき事項があると考えましたので、お伝えいたします。

(1)多くの目で敷地内の死角点検

今回の火災の火元は音楽準備室であり、校長らは室内の状況を把握していなかった旨の報道があります。今回は火災でしたが、わいせつ行為を含めた、様々な不適切な事象の温床にもなりかねません。教育長通信 NO.41 でお伝えした「児童生徒性暴力等の根絶に向けての提言」にもありましたが、「学校という環境の構造的リスク」の増長にもつながります。

このような事態にならないためには、敷地内の定期的な点検が必要です。敷地内を見慣れている教職員だけでなく、学校運営協議会委員や PTA 役員を含む保護者などと一緒に、敷地内を見回ることも一案です。

(2)「救助袋」を含む避難器具などの使用方法の確認

「救助袋」を使用できなかったとの報道もありました。「救助袋」に限らず、避難や消火のための器具や設備、AEDなどを緊急時に迅速に使えるよう、使用方法を確認しておく必要があります。

(3)想定外の事態も想定した避難経路の確保

避難訓練では、火元は給食室や家庭科室、理科室を想定していると思います。他の教室などでは火を使う可能性は低いですが、漏電による火災はあり得ます。避難訓練などを通じて、様々な場面に対応できる避難経路を確保しておく必要があります。

2. 社会教育関係のご案内

しばらくの間、学校教育を中心にお伝えし、社会教育に関する情報をお伝えすることができませんでした。今回、一挙にお伝えします。

(1) 地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2026 群馬 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/2026/06/2026gunma1.html>

- ・【日時】7月31日(金)10:00~16:40
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)と地域学校協働活動を一体的に推進している事例発表などが行われます。会場参加であれば、全国様々な地域の実践者と意見交換ができます。Web 視聴も可能です。

(2) 令和8年度「こども霞が関見学デー」 https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/

- ・【日時】7月29日(水)、30日(木)
- ・各府省庁等の特色を生かした、子供たちを対象に広く社会を知る様々なプログラムが実施されます。小・中学生・幼児等を対象としており、原則として保護者の同伴が必要です。プログラムの詳細は HP でご確認ください。

(3) CS ユースリーダーnote <https://mext-cs-youthleader-gov.note.jp/>

- ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わる若者の参画を増やしていくために、今年度から、文部科学省に委嘱された若い世代の担い手が「CS ユースリーダー」です。この HP から様々な情報が配信されています。
- ・6月13日には、彼らが企画した大学生イベントが東京学芸大学で開催され、教員養成課程在学中の大学生や教育委員会の方、地域学校協働活動推進員の方、元校長先生と意見交換してきました。
- ・ちなみに、CS ユースリーダーの一人である藤原睦己さんは、この教育長通信を読まれています。

(4) 令和8年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰 https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01608.html

- ・昨年度の妙典小に続き、今年度は富貴島小が表彰を受けました。これで市川市立学校の授賞は7年連続になります。これら取り組みを全市的に展開する必要があります。

3. 夏休み明けの作品募集への積極的な応募のお願い

夏休み明けを期限として、様々な団体から絵画や作文などの作品募集があります。児童生徒の皆さんには積極的な応募をお願いします。大人の事情を申しますと、特に、公的な事業を行っている団体は、出張授業などで学校教育や社会教育、青少年健全育成にご尽力いただいていますので、なおのこと、積極的な応募をお願いいたします。